

毎週日曜発行
2024 12/1

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

みんな 子ども だった!?

55

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

海で事故に遭った人を助けたり、事件を取り締まったりする海上保安官って知ってる？ 宮城県塩釜市に、東北の海を守る第2管区海上保安本部があります。巡視艇の船長さん、どうして海上保安官を目指したの？

聞いてみたよ。

(8面に関連記事)

村畑さんは青森県六ヶ所村の漁師の家に生まれました。家から見えるほど海が近くにあり「自然と磯遊びや釣りに親し

実家が漁師 経験を生かす

「みました」と村畑さんは言います。テレビゲーム

やカードゲームも好きな子どもだったそうです。

実家がイカ釣り漁をしていたので、箱に氷を詰めたり、仕掛けを作ったり、できる範囲で手伝いました。手伝いや遊びで自然と体が鍛えられました。



むらはた・しげき 1987年生まれ。仙台市内の専門学校を卒業後、2009年海上保安学校入学。宮城海上保安部巡視船まつしま乗組員、警備救難課勤務などを経て、24年4月から巡視艇しらはぎ船長。青森県六ヶ所村出身。

村畑 繁樹さん(37歳・巡視艇しらはぎ船長)

高校を卒業後、漁師を継ぐと考えていたものの、別の道を探すことに。人助けのできる仕事をしたいと、海上保安官を目指したそうです。

「家の手伝いをして船に慣れてきた経験を生かしたいとも思っていたので、理想的な職業だっと思っていました」と当時を振り返ります。



村畑さんは海上保安学校(京都府)で訓練を受け、2010年に宮城海上保安部の巡視船「まつしま」の乗組員となりました。

翌11年に東日本大震災が起き、まつしまは福島県相馬沖で高さ10メートルの大津波に遭いました。当時撮影された動画がネットで公開されています。緊迫したやりとりの

中に「私の声も入っています」と村畑さん。しばらくは「一心不乱に、捜索活動や物資輸送などに取り組んだそうです。



現在、船長を務める巡視艇「しらはぎ」は全長20メートル。宮城海上保安部に所属する船の中では小型で、機動力を生かし活躍しています。

船が動けなくなったり急病人が出たりした現場にも急行します。「海で行われる花火大会の警備もしますよ。海で起きたことには何でも対応します」。頼もしいですね。海は危険と隣り合わせ。悲惨な事件や事故と向き合うこともありま

す。それでも村畑さんは「自分が貢献できたときは、やって良かったと感じます」と胸を張ります。海に行くときは安全を守る人がいる。みんなもこう考えてみてね。

今週の注目ニュース

◇1日(日) 映画の日

1896年のこの日、日本で初めて映画が一般公開されたことを記念し、映画産業団体連合会が1956年に制定しました。スクリーンで見る楽しさを伝えようと、全国の多くの映画館で観賞料金が割引になります。

118番の紙面

- 2面 作って遊んでサイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 118番って知ってる?